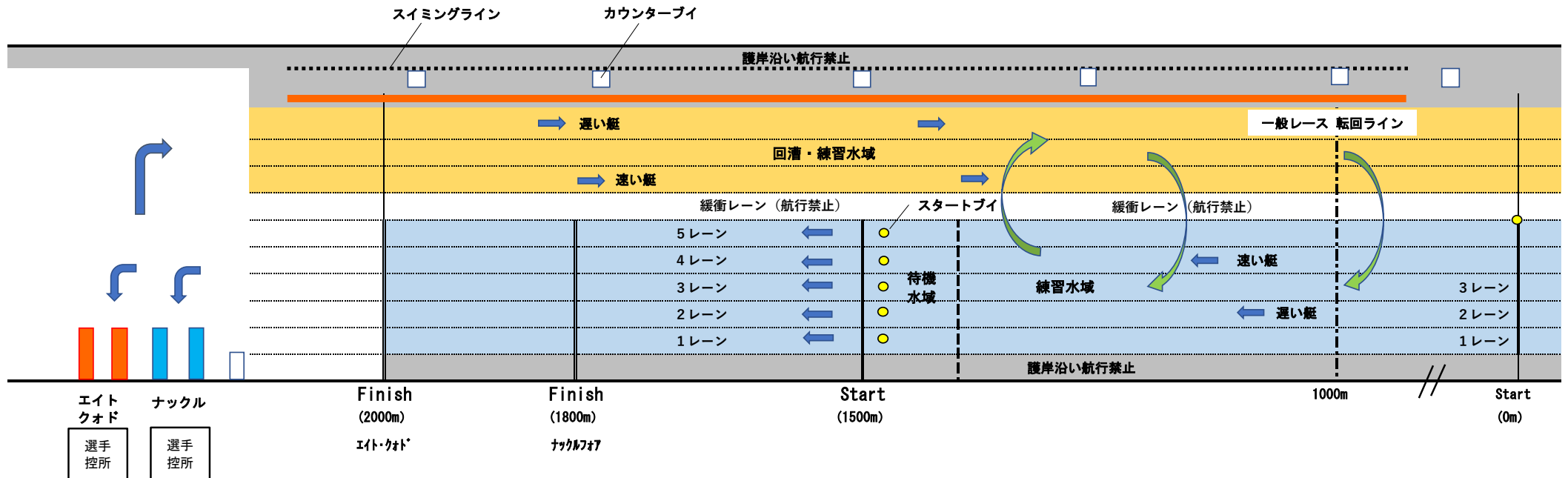


TOKYO2020開催記念レガッタ2022 航行ルール（大会時）



- ※各クルーはスタート時刻の40分前までに配艇所に行き、乗艇の指示を受けること。
- ※原則、前のクルーからの乗り換えとなるので、次のクルーはポンツーン（棧橋）上で着艇をサポートすること。
- ※「回漕・練習水域」では外側（進行方向左側）を遅い艇、内側（進行方向右側）を速い艇が航行する。
- ※「回漕・練習水域」は原則として1000m付近で艇を回すこと（2000mレースは除く）
- ※スタート時刻との関係で1000m手前で艇を回す場合は他艇に充分注意すること。
- ※「練習水域」においても、外側（進行方向左側）を遅い艇、内側（進行方向右側）を速い艇が航行する。
- ※次にスタートするクルーは「待機水域」の自分のレーンに入って待機し、前のレースがスタートしたら自分のブイに方向を定めて前進し、コックスはスタートブイに取り付けられたハンドル（木のバー）を確実に掴むこと。
- ※フィニッシュしたら速やかに艇をポンツーン（棧橋）に着けること。